



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 日本コンセプト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9386 URL <https://www.n-concept.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 孝義  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 若園 三記生 (TEL) 03-3507-8812  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	4,804	△8.4	1,141	△3.2	1,139	△1.4	790	0.2
2022年12月期第1四半期	5,244	42.6	1,179	135.7	1,155	150.4	788	135.5

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 824百万円(△12.8%) 2022年12月期第1四半期 945百万円(110.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	56.97	—
2022年12月期第1四半期	56.88	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	26,089	16,818	64.5
2022年12月期	26,177	16,237	62.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 16,818百万円 2022年12月期 16,237百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,900	△20.6	1,325	△47.0	1,285	△47.6	866	△48.9	62.45
通期	18,000	△22.0	2,670	△45.3	2,580	△45.2	1,728	△47.0	124.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期1Q	13,868,500株	2022年12月期	13,868,500株
2023年12月期1Q	679株	2022年12月期	679株
2023年12月期1Q	13,867,821株	2022年12月期1Q	13,867,821株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	8
(1) 販売の状況	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	増減額 (増減率)
売上高 (千円)	5,244,429	4,804,446	△439,982 (△8.4%)
営業利益 (千円)	1,179,666	1,141,589	△38,076 (△3.2%)
経常利益 (千円)	1,155,079	1,139,225	△15,854 (△1.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	788,839	790,118	1,278 (0.2%)
保有基数 (3月末時点)	9,769基	10,054基	285基 (2.9%)
稼働率 (3ヶ月平均)	76.7%	66.2%	△10.5%

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,804百万円、営業利益1,141百万円、経常利益1,139百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は790百万円となりました。

国際輸送においては、2021年秋より始まったコンテナ船運航スケジュールの乱れも落ち着きを取り戻し、アメリカ西海岸における港湾の混雑解消も進みました。また、コンテナ船の積載スペースのタイト感も緩和され、高騰した海上運賃も正常化しつつあります。

こうしたビジネス環境のなか、当社グループの貨物輸送関連の売上は前年同期を下回りましたが、日本国内の支店網とタンクコンテナの特色を活かした貨物の保管業務や加温業務等の附帯サービスビジネスに注力し、前年同期を上回る売上を計上しました。

他方、高圧ガスビジネスにおいては、昨年10月にガス・環境ソリューション部を立ち上げ、主にフロンガスを中心とした高圧ガス専門の営業部隊による業務を推進し、着実に実績を上げております。2017年に高圧ガスビジネスに参入以来、7期連続して売上が伸びており、当第1四半期連結累計期間における売上高は、245百万円（前年同期は208百万円）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における2023年度通期業績予想に対する達成率は、売上高においては26.7%、営業利益においては42.8%、経常利益においては44.2%、親会社株主に帰属する当期純利益においては45.7%を達成するに至りました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少（0.3%減）し、26,089百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ112百万円増加（0.8%増）し、13,735百万円となりました。受取手形、売掛金及び契約資産が433百万円、その他流動資産が42百万円減少したものの、現金及び預金が588百万円増加したことが主な要因です。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ200百万円減少（1.6%減）し、12,354百万円となりました。建物及び構築物（純額）が36百万円、タンクコンテナ（純額）が119百万円、その他有形固定資産（純額）が33百万円減少したことが主な要因です。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ887百万円減少（19.0%減）し、3,786百万円となりました。短期借入金が90百万円、賞与引当金が25百万円増加したものの、買掛金が26百万円、1年内返済予定の長期借入金が92百万円、未払法人税等が745百万円、その他流動負債が108百万円減少したことが主な要因です。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ218百万円増加（4.1%増）し、5,484百万円となりました。リース債務が39百万円減少したものの、長期借入金が255百万円増加したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ581百万円増加（3.6%増）し、16,818百万円となりました。利益剰余金が547百万円、為替換算調整勘定が34百万円増加したことが主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,824,240	10,412,914
受取手形、売掛金及び契約資産	3,136,992	2,703,636
その他	762,405	719,539
貸倒引当金	△100,944	△100,596
流動資産合計	13,622,694	13,735,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,384,984	1,348,750
タンクコンテナ（純額）	7,818,864	7,698,910
土地	2,195,963	2,195,963
その他（純額）	595,200	561,879
有形固定資産合計	11,995,012	11,805,503
無形固定資産	164,503	153,482
投資その他の資産	395,129	395,038
固定資産合計	12,554,645	12,354,024
資産合計	26,177,340	26,089,519
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,483,371	1,457,068
短期借入金	70,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	520,152	427,265
リース債務	837,027	809,509
未払法人税等	1,160,087	415,005
賞与引当金	44,419	70,175
株主優待引当金	2,418	—
その他	556,438	447,641
流動負債合計	4,673,914	3,786,665
固定負債		
長期借入金	1,372,322	1,627,804
リース債務	3,555,808	3,516,471
退職給付に係る負債	161,494	162,872
その他	176,716	177,250
固定負債合計	5,266,342	5,484,398
負債合計	9,940,257	9,271,063

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,134,781	1,134,781
資本剰余金	1,060,941	1,060,941
利益剰余金	13,610,328	14,157,760
自己株式	△581	△581
株主資本合計	15,805,470	16,352,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△730	△799
為替換算調整勘定	432,342	466,353
その他の包括利益累計額合計	431,612	465,553
純資産合計	16,237,082	16,818,455
負債純資産合計	26,177,340	26,089,519

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	5,244,429	4,804,446
売上原価	3,686,388	3,214,405
売上総利益	1,558,040	1,590,041
販売費及び一般管理費	378,374	448,452
営業利益	1,179,666	1,141,589
営業外収益		
受取利息	1,022	7,153
為替差益	—	2,695
受取家賃	1,255	1,614
受取保険金	3,243	5,604
補助金収入	1,801	364
その他	96	336
営業外収益合計	7,418	17,768
営業外費用		
支払利息	19,999	19,949
為替差損	11,440	—
その他	564	183
営業外費用合計	32,004	20,132
経常利益	1,155,079	1,139,225
税金等調整前四半期純利益	1,155,079	1,139,225
法人税等	366,240	349,107
四半期純利益	788,839	790,118
親会社株主に帰属する四半期純利益	788,839	790,118

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	788,839	790,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116	△69
為替換算調整勘定	156,143	34,011
その他の包括利益合計	156,260	33,941
四半期包括利益	945,100	824,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	945,100	824,059
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2023年4月14日開催の取締役会において、新たに子会社を設立することを決定致しました。なお、2023年6月1日の設立に向け準備を進めておりますが、新会社の運営に必要な資金を十分に確保するため、資本金を当初予定した10,000千円から100,000千円に増額することを2023年5月15日開催の取締役会において決定致しました。

## 1. 子会社設立の目的

当社は、代替フロンをはじめとした様々なガスを取り扱う高圧ガス事業を2017年に開始し、国内外の企業の異なるニーズに積極的にお応えしながら着実に売上を伸ばしてまいりました。更に、2022年10月には従来の体制を更に強化して営業活動に特化する目的でガス・環境ソリューション部を設立致しました。

この度、当社事業の更なる拡大を目指して新たに新潟市に約8,500坪の土地を購入して高圧ガス事業を展開することを踏まえ、将来の事業展開も展望し、一段ときめ細やかな営業展開を目指した高圧ガス事業の新会社を設立することと致しました。

## 2. 設立する子会社の概要

(1) 名称	日コン外航ガスタンクケミカル株式会社 英名：NICHICON OVERSEAS GASTANK CHEMICAL Co., Ltd.
(2) 所在地	東京都千代田区内幸町2-2-2
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松元 孝義
(4) 事業内容	① フロンガスを始めとした各種ガスの回収、再生、破壊、除害 ② 貨物利用運送事業 ③ 倉庫業
(5) 資本金等	資本金 100,000千円、資本準備金 100,000千円
(6) 設立年月日	2023年6月1日(予定)
(7) 決算期	12月31日
(8) 大株主及び持株比率	当社 100%

## 3. 今後の見通し

本子会社の設立が当社の2023年12月期の連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。

## 3. その他

## (1) 販売の状況

当第1四半期連結累計期間における輸送形態別販売実績は、次のとおりであります。(単位：千円)

輸送形態別	前第1四半期 連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年3月31日	当第1四半期 連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年3月31日	前年同期比(%)
輸 出 売 上	2,349,170	1,754,997	74.7%
輸 入 売 上	1,428,251	1,499,862	105.0%
三 国 間 売 上	215,588	326,546	151.5%
国内輸送等売上	1,115,609	1,070,955	96.0%
そ の 他	135,808	152,085	112.0%
合 計	5,244,429	4,804,446	91.6%

(注) 1 「輸出売上」「輸入売上」「三国間売上」「国内輸送等売上」「その他」は、輸送経路による区分であります。

2 国内輸送等売上には、国内輸送に加え保管及び加温に関するサービスも含まれております。